

事業執行体制

(2015年7月1日現在)

当社は、執行役員社長、チーフオフィサー、ビジネスユニット担当執行役員を中心とする以下のメンバー間での定期的な情報共有やオープンな議論を通じて、経営スピードの向上や全社横断的視点での事業の推進をはかっています。



執行役員副社長 兼 CSO 兼 CIO 新野 隆

2015年3月期(当年度)は、「2015中期経営計画」の2年目として、当社が注力する社会ソリューション事業のグローバル展開に一定の成果を残すことができました。2016年3月期(次年度)はビジネスモデルを整備し、社会価値創造型企業としてこれらを大きく成長させるとともに、NECグループの業務改革をより一層推進し、グローバルリーディングカンパニーを目指した次期中期経営計画の策定に全力で取り組みます。

執行役員副社長 グローバルビジネス戦略担当 岡田 秀一

NECグループが目指す経営目標を達成するためには、グローバルビジネスを拡大することが不可欠です。世界の人々が求める安全な暮らしや、新興国の発展になくてはならない社会インフラの整備を、NECの持つ情報通信技術の力を活用して実現していくこと。お客さまに喜んでいただけるサービスをお届けすること。これがNECの進むべき道だと考えています。世界各国のトップリーダーの方々の理解を得ながら、スピード感をもって取り組んでまいります。

執行役員常務 パブリックビジネスユニット担当 西村 知典

次年度は現中期経営計画の最終年、締括りの年として全力で取り組む所存です。今、市場がNECに期待しているのは「成長性」と「収益力の向上」です。そのためには、我々の製品・サービスに「グローバル競争力」を持たせ、さらには事業をとおした社会への貢献の範囲を広げることにより、社会価値創造型企業としてのNECのブランド力を高めていくことが重要です。当ビジネスユニットは、次年度、海外売上伸張の道筋を付け、事業構造のさらなる改善によって、より収益力の高い事業体へと進化します。

**執行役員常務
海外ビジネスユニット担当 森田 隆之**
バイオメトリクス関連技術、ネットワークを含めた仮想化技術、相関解析を利用したビッグデータ関連技術など、NECの世界No.1の技術を活かした最先端の社会ソリューションをお客さま、パートナー企業様、各国関連政府機関様とともにマネージドサービスとして実現し、グローバルに継続的に提供していくことが私たちの使命だと考えています。そのために、商業ベースのシステム提供に加え、世界各地で数多くの実証実験にも取り組んでいます。新しい社会価値を積極的に提案しています。

**執行役員常務
テレコムキャリアビジネスユニット担当 手島 俊一郎**
当ビジネスユニットは、NECが持つIT・ネットワーク技術を結集し、情報通信基盤を構築することにより、豊かな社会の実現に貢献していきます。「2015中期経営計画」の最終年度となる次年度は、仮想化によりネットワークの構築を容易にするSDNと、ネットワークの運用を効率化するTOMSを連携させたソリューションによって、国内外の幅広いお客さまの課題解決に積極的に取り組み、グローバルでのさらなる成長を実現していきます。

**執行役員常務 兼 CMO
ビジネスイノベーション統括ユニット担当 清水 隆明**
NECが今後も継続的に社会に貢献していく領域を、7つの社会価値創造テーマとして定めました。NECの決意として受け止めていただければ幸いです。今、IoTの世界が、あらゆる産業分野に一気に拡がりつつあります。NECは116年にわたるネットワークとコンピュータの技術研鑽の歴史を梃子に、IoTでもイノベーションを起こしていきます。このイノベーションを支えるのは、ビッグデータ、クラウド、SDN/NFV、サイバーセキュリティなどの先端技術と、これらをお客さまにソリューションとしてお届けするシステムインテグレーション力です。これからも継続的に技術や能力を磨き、社会に必要とされる新しい価値を届け続けます。

**執行役員常務
システムプラットフォームビジネスユニット担当 庄司 信一**
当ビジネスユニットは、社会ソリューション事業を推進する各ビジネスユニットや営業、システムエンジニアを下支えする基盤事業体として「強いICTアセット」を提供し続けています。「強いICTアセット」は、グローバルなコスト競争力と高品質、他社が真似をできない付加価値によって実現されます。各コンポーネントの進化にこだわり、当社のダントツの強みである①ベクトルコンピュータを中心としたビッグデータエンジン、②SDNを進化させた仮想化基盤、③エッジコンピューティングの3つを統合したソリューション型プラットフォームで、IoT時代をリードしていきます。

**執行役員常務 兼 CFO
川島 勇**
「2015中期経営計画」の2年目となる当年度は、収益性の拡大をはかりながら安定的な財務基盤の構築を進めてまいりました。年初に策定した利益計画を3年連続で達成することができており、順調に事業が進捗しています。次年度は、「2015中期経営計画」の最終年度となります。SDN、ビッグデータ、クラウド、セーフティ/セキュリティ、エネルギー等の注力領域における成長戦略の展開を財務面からも支え、事業拡大に向けた土台を築いていきたいと思います。

**執行役員
スマートエネルギービジネスユニット担当 國尾 武光**
世界の電力市場では、ICTを活用して高度に電力制御を行う「分散型エネルギー」という新しい考え方の普及が加速しています。まさにこれこそ、NECが以前より提唱している「ICTとエネルギー技術の融合」にほかなりません。当年度は、大型/小型蓄電システムやAMIなどの製品アセットを強化することで、前年度を大きく上回る成長を実現してまいりました。中計最終年度となる次年度は、日本でも普及の加速が予想されている「分散型エネルギー」を積極的に推進し、マーケット・顧客を起点にビジネスモデルを創造し続けることで、継続的な事業成長を実現してまいります。

**執行役員
中央研究所担当 江村 克己**
お客さまとともに新しいイノベーションを実現する活動を継続して進めています。当社はこれまでに世界No.1の顔認証技術や独自のビッグデータ解析技術を活用して、都市やインフラの統合監視、プラントのセキュアで安定的な稼働といった強いソリューションを創り出しました。既にそのグローバル展開も始まっています。次年度はグローバルな研究活動を一層強化して新たな社会ソリューションを生みだし、NECの次なる成長に貢献します。

**執行役員
人事部・総務部担当 牧原 晋**
当社の成長のためには、リソース面でもグローバルな競争力を高める必要があります。日本は少子高齢化という構造的な課題を抱えていますが、当年度は女性や外国籍従業員の積極的な採用・活用を推進しました。また、後継者育成プランの実施など、ビジネスリーダーの育成に取り組みました。次年度は、グローバルビジネス拡大を推進するため多様な人材がいきいきと活躍できるような取り組みと、働き方の改革によるさらなる生産性の向上を推進します。

**執行役員
サプライチェーン統括ユニット担当 大嶽 充弘**
当ユニットは、NECグループ全体最適の視点で、サプライチェーンの強化・改善を進めています。この活動の底流には、「我々は顧客満足(CS)に対する責任を負っている」という強い思いがあります。次年度は、IoTを駆使し、プロセス革新でサプライチェーンのスピードアップと見える化に注力します。全てに優先するCS。この点を強く意識して、調達、生産、デリバリ、品質の対応力をさらに高い水準に押し上げてまいります。

**執行役員
エンタープライズビジネスユニット担当 石井 力**
当ビジネスユニットは、製造業、流通、サービス業のお客さまへの価値提供を通じ、安全・安心で豊かな社会の実現に貢献してまいります。次年度は、「造る」「運ぶ」「売る」をつなぐ「バリューチェーン・イノベーション」を中核に、お客さまとの価値共創によって、グローバルへとビジネスをさらに拡大し、「2015中期経営計画」の最終年度を未来へとつなぐ「成長の年」とすべく、全力で取り組みます。

当社の執行役員に関する詳しい内容は、下記ホームページをご参照ください。

[URL http://jpn.nec.com/profile/corp/executives/svp.html](http://jpn.nec.com/profile/corp/executives/svp.html)